

第149回 日商簿記検定試験 1級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

1. 資本の推移 (単位: 千円)

	X1年3月		X4年3月 前期末		X5年3月 当期末
	支配獲得		追加取得		
資本金	50,000		50,000		50,000
資本剰余金	10,000	+15,000	10,000	+2,800	10,000
利益剰余金	30,000		45,000	△1,000	46,800
その他有価証券 評価差額金					1,500
評価差額	2,000		2,000		2,000
持分割合	60%		80%		80%

2. 開始処理 (未実現損益に係るものは除く。)

(1) 投資と資本の相殺

(借) 有形固定資産	2,000	(貸) 評価差額	2,000
(借) 資本金当期首残高	50,000	(貸) S社株式	70,000
(〃) 資本剰余金当期首残高	10,000	(〃) 非支配株主持分当期首残高	36,800
(〃) 利益剰余金当期首残高	30,000		
(〃) 評価差額	2,000		
(〃) のれん	14,800		

(2) のれんの償却

(借) 利益剰余金当期首残高	4,440	(貸) のれん	4,440
----------------	-------	---------	-------

※ 14,800千円 ÷ 10年 × 3年 (X1年4月～X4年3月) = 4,440千円

(3) 子会社の利益剰余金の増加額の按分

(借) 利益剰余金当期首残高	6,000	(貸) 非支配株主持分当期首残高	6,000
----------------	-------	------------------	-------

※ 15,000千円 (子会社の利益剰余金の増加額) × 40% (非支配株主持分) = 6,000千円

(4) 追加取得

(借) 非支配株主持分当期首残高	21,400	(貸) S社株式	25,000
(〃) 資本剰余金当期首残高	3,600		

※ 非支配株主持分減少額

{50,000千円 + 10,000千円 + 45,000千円 + 2,000千円} (S社資本) × 20% (追加取得分)

= 21,400千円

3. 当期の処理

(1) のれんの償却

(借) のれん償却額	1,480	(貸) のれん	1,480
------------	-------	---------	-------

※ 14,800千円 ÷ 10年 = 1,480千円

(2) 子会社の当期純利益の按分

(借) 非支配株主に帰属する当期純利益	560	(貸) 非支配株主持分当期変動額	560
---------------------	-----	------------------	-----

※ 2,800千円 (子会社の当期純利益) × 20% (非支配株主持分) = 560千円

(3) 子会社の配当金

(借) 営業外収益	800	(貸) 剰余金の配当	1,000
(〃) 非支配株主持分当期変動額	200		

※ 1,000 千円 (子会社の配当金) $\times 80\%$ (親会社持分) = 800 千円
 $\times 20\%$ (非支配株主持分) = 200 千円

(4) 未達の処理

(借) 棚卸資産	400	(貸) 買掛金	400
----------	-----	---------	-----

※ 10,000 千円 (P社売上高) $- 9,600$ 千円 (S社仕入高) = 400 千円

(5) 内部取引の消去

(借) 売上高	10,000	(貸) 売上原価	10,000
---------	--------	----------	--------

(6) 債権債務の相殺

(借) 支払手形	2,800	(貸) 受取手形	2,800
(借) 買掛金	1,500	(貸) 売掛金	1,500
(借) 営業外支払手形	2,000	(貸) 営業外受取手形	2,000

(7) 表示科目の切替え

(借) 営業外支払手形	1,000	(貸) 短期借入金	1,000
-------------	-------	-----------	-------

(8) 未実現損益の消去

① 棚卸資産

a. 開始処理・前期未実現損益の実現処理

(借) 利益剰余金当期首残高	250	(貸) 売上原価	250
----------------	-----	----------	-----

※ 1,000 千円 (期首棚卸資産) $\times 25\%$ (売上総利益率) = 250 千円

b. 当期の未実現損益の消去

(借) 売上原価	300	(貸) 棚卸資産	300
----------	-----	----------	-----

※ {800 千円 + 400 千円 (未達分)} $\times 25\%$ (売上総利益率) = 300 千円

② 備品

(借) 特別利益	1,000	(貸) 有形固定資産	1,000
(〃) 有形固定資産	100	(〃) 営業外費用	100
(〃) 非支配株主持分当期変動額	180	(〃) 非支配株主に帰属する当期純利益	180

※ 1 1,000 千円 $\div 5$ 年 $\times 6$ ヶ月 (X4 年 10 月 1 日 ~ X5 年 3 月 31 日) $\div 12$ ヶ月 = 100 千円

※ 2 (1,000 千円 $- 100$ 千円) $\times 20\%$ (非支配株主持分) = 180 千円

(9) S社その他の包括利益累計額 (その他有価証券評価差額金) の増加額の按分

(借) その他有価証券評価差額金	300	(貸) 非支配株主持分当期変動額	300
------------------	-----	------------------	-----

※ 1,500 千円 (S社その他有価証券評価差額金の増加額) $\times 20\%$ (非支配株主持分) = 300 千円

(10) 利益剰余金の分析

利 益 剰 余 金			(単位：千円)	
			期 首 残 高	
のれん償却額	X1年4月～X4年3月	4,440	P社 当期首残高	58,000
未実現損益の消去（棚卸資産）			S社 X1年4月～X4年3月	
1,000千円（前期末）×25%		250	利益剰余金増加額× 60%	9,000
			<i>(追加取得前のP社持分)</i>	
			当期変動額	
のれん償却額	X4年4月～X5年3月	1,480	P社 当期純利益	4,000
未実現損益の消去（棚卸資産）			S社 X4年4月～X5年3月	
1,200千円（当期末）×25%		300	利益剰余金増加額× 80% (P社持分)	1,440
未実現損益の消去（備品）			未実現損益の実現（棚卸資産）	
{1,000千円－100千円}× 80%		720	1,000千円（前期末）×25%	250
			<i>(P社持分)</i>	
P社 剰余金の配当		2,000		

(11) 非支配株主持分の分析

① X5年3月時点のS社資本

50,000千円（資本金）＋10,000千円（資本剰余金）＋46,800千円（利益剰余金）
 ＋2,000千円（評価差額）＋1,500千円（その他有価証券評価差額金）＝110,300千円

② 未実現損益の消去（備品）

1,000千円－100千円＝900千円

③ (①－②)×20%（非支配株主持分）＝21,880千円

(12) 非支配株主に帰属する当期純利益（解答の金額）

560千円（S社当期純利益の非支配株主持分）－180千円（備品の未実現損益の消去）＝380千円

(13) 包括利益

① P社その他の包括利益累計額（その他有価証券評価差額金）の増加額

20,000千円（B/Sその他有価証券）－18,000千円（前期末時価）＝2,000千円

② 親会社株主に係る包括利益

3,190千円（親会社株主に帰属する当期純利益）＋2,000千円

＋1,500千円（S社その他の包括利益）×80%（P社持分）＝6,390千円

③ 非支配株主に係る包括利益

380千円（非支配株主に帰属する当期純利益）

＋1,500千円（S社その他の包括利益）×20%（非支配株主持分）＝680千円